

事業所における自己評価結果（公表）

公表: 令和5年8月23日

事業所名 はびたむ

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|---|--|----|---------------|-----|--|---|
| 環境・ 体制 整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 4 | 2 | | クールダウンができるように工夫しています。 | 運動や集団活動を行う際は、活動スペースを工夫して行っています。療育スペースの仕切りを増やしていきます。 |
| | ② | 職員の配置数は適切である | 6 | | | | 配置基準は守られているが、日によって障害の程度が違う子どもがいるため、他害・自傷当の児童がいる時は、もう少し手厚い配置をしていきます。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 6 | | | シールや目印などを使用し、子どもに分かりやすい空間になるように工夫しています。 | 子どもの特性に合わせた環境設定を引き続き行っていきます。 |
| 業務 改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 6 | | | 毎日の朝礼や、ミーティング、定例カンファレンス等で定期的に行い、全職員が参画できるようにしています。 | 意見交換を経ての決定事項を、次のカンファレンス等で振り返り、更なる業務改善を図っています。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6 | | | 保護者様のご意見や事業所自己評価の意見を踏まえ、改善に努めています。 | 保護者様からのご意見等は、迅速に共有しスピード感を持って改善することを目標にしています。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | | | ホームページで公開しています。 | より多くの方に見て頂けるように、保護者様への案内をしています。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | | 6 | | 第三者による外部評価は受けていませんが、内部評価にて指摘事項がある場合は、改善に努めています。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | | | 必要研修は年間研修計画に盛り込んで、毎月研修を実施しています。 | 必要研修以外にも、外部研修や内部研修にて、今後も職員の資質向上に努めます。 |
| 適切な 支援の 提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | | | 担当者間で定期的にあセスメントを行い、計画を策定しています。 | 引き続き、職員の計画作成のスキル向上に、努めてまいります。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | | | 標準化アセスメントツールを使用するとともに、必要に応じて、ツールの見直しを行っています。 | アセスメント時だけでなくミーティング等でも標準化アセスメントツールを使用しながら、子どもの状況に関する意見交換を行っていきます。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | | | チーム間で意見交換をし、活動プログラムをチームで作成しています。 | より幅の広い活動プログラムの立案に努めます。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | | | 担当者間での情報共有をし、往プログラムが固定化しないように工夫しています。 | 職員のプログラムに関するスキル向上に努めます。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 6 | | | 休日や長期休暇にしか出来ないプログラム等、意見交換しながら工夫し、実施できています。 | 平日、休日、長期休暇に応じた支援はできていますが、よりきめ細やかに支援していくための計画立案を行っていきます。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | | | お子様の状況に応じて、個別・集団活動を組み合わせながらまた、特性に配慮しながら計画しています。 | 引き続き、特性や障害に配慮した上で、かつ、ニーズに合わせた個別や集団を組み合わせ合わせた計画を作成していきます。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している | 6 | | | 朝礼または、ミーティング等で、支援内容や役割分担についての確認作業ができています。 | 役割分担表においては、適宜見直しをしながら、より良い物に更新していくよう努めます。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 6 | | | 終了後、振り返りをしながら共有しています。また、記録の整備も行っています。 | 共有だけでなく、改善する内容がある際は迅速に意見交換するように努めています。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | | | その日その日の記録を整備し、支援の内容や結果について意見交換をしています。 | 記録漏れがないか、定期的な確認作業は今後も継続していきたいと思っております。 |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------|---|----|---------------|-----|--|---|
| 関係機関や保護者との連携 | ⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している | 6 | | | 定期的にモニタリングを行い、計画見直しの必要度を判断しています。 | 保護者様にもお時間の都合があるので、より計画的にモニタリングが行えるように、日程等は、全職員が把握できるように工夫します。 |
| | ⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている | 5 | 1 | | 研修を通してガイドラインに対する理解を、今後も深めていきます。 | 定期的にガイドラインを確認する機会を増やしていきます。 |
| | ⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している | 5 | 1 | | 児童発達管理責任者を中心に参画しています。 | 児童発達管理責任者以外にも参画できるように、職員のスキルアップを図ります。 |
| | ㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている | 6 | | | 学校からの年間計画・行事予定をもとに、また、日々の連絡調整をしながら、情報共有ができています。 | 時々、学校行事等で、予定と異なる場合もあるので、日々の連絡体制を大事にしていきたいと思います。 |
| | ㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る | | | | | 受け入れていない |
| | ㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている | 6 | | | 特に新1年生に関しては、情報共有を大事にし、子どもの不安解消に努めています。 | 情報共有ができるように、担当者が積極的に連絡調整するようにしています。 |
| | ㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している | 6 | | | 障害福祉サービスへの移行の際は、支援内容等の情報提供を積極的に行っています。 | 情報提供にあたり、欲しい情報の具体的な内容を、あらかじめ聞いておき、スムーズに提供できるように努めます。 |
| | ㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている | 6 | | | 専門機関と連携し、また、助言や研修も受けています。 | 積極的に情報共有をしながら、助言を受ける機会を増やしたいと思います。 |
| | ㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある | 6 | | | 屋外活動や外出行事を通して交流の機会を得ています。 | 屋外活動や外出行事を通して交流の機会を増やせるよう努めます。 |
| | ㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に 参加している | | | 6 | コロナ禍であったため、積極的に参加できていませんでした。 | 今後は、積極的に参加するよう努めます。 |
| | ㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている | 6 | | | 送迎時に、お子様の報告と合わせて、日頃の困り事や心配事などを伺っています。また、お知らせ等を通して、相談窓口の活用をおすすめしています。 | 日頃の送迎時の会話だけでなく、作品展や文化祭等の行事を通して、お子様の状況や課題についてお話を聞く機会を増やしていきます。 |
| | ㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている | 6 | | | 大々的な「支援」という枠組みではないが、日頃から保護者様へのアドバイスに盛り込んで行っています。 | ペアレント・トレーニングの研修に参加し、より知識を深めながら、保護者様に対応できるように努めます。 |
| 保 | ⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている | 6 | | | 分かりやすい言葉で説明するようにしています。 | ご契約時に必ずご説明させていただいております。ご希望の集金方法についてもこの際にお伺いしております。 |
| | ㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | | | 送迎時等に、職員側から積極的に、お声掛けさせていただいております。 | 送迎時にご様子をお伝えするほかに、必要と考えられることなどについてはお伝えさせていただいております。また、個別でお悩みのご相談があった際には面談時間を作り、お話を聞いております。 |
| | ㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している | 5 | 1 | | | 保護者会という名目では行っておりませんが、文化祭や作品展等で保護者に来所していただいた際に支援や交流を図れるよう努めております。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---|----|--|----|---------------|-----|--|--|
| 護 者 へ の 説 明 責 任 等 | ③③ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | | | 苦情・相談受付窓口を設置しております。窓口については契約時に必ずご説明させていただいております。 | 言いづらい事でも伝えていただけるように、日頃からの信頼関係構築に努めています。 |
| | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | | | 年4回のはびたむ通信の発行を行っております。 | はびたむ通信の定期的な発行に合わせて、今後保護者様からのご要望に合わせて、行事後の臨時会報等も、見直してまいります。 |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意している | 6 | | | 個人情報の扱いには細心の注意を払っております。子どもたちの目に入らないように、フロア内でも、配慮しています。 | 個人情報の取り扱いについては、職員間だけでなく、必要時、子どもたちにも指導の場を設けています。 |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | | | お子様から申し出があった場合には場所等配慮しながらお話を聞いております。 | 保護者様から申し出があった場合には別途面談時間を設けております。 |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 5 | 1 | | 事業企画は行いが、コロナ禍であったため、実施できていなかったが、今後はより工夫した上で実施していきたいと思っております。 | 事業企画を試行し、地域住民との関わる機会を増やしていきます。 |
| 非 常 時 等 の 対 応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 6 | | | | 緊急時マニュアルは策定しておりますが、保護者様には伝えきれていない部分もあるため伝えられる様検討いたします。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | | | 地震や火事などの避難、救出訓練は定期的に出来ています。 | 地震や水害などの非常災害に備えた訓練、BCPに基づいた対応策など今後も行っていきます。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | | | 定期的に虐待防止のための研修を行っております。社外研修も機会があれば積極的に参加しております。 | 事業所の虐待防止委員会も運営しており、今後も適切な対応ができるよう、定期的に委員会を行ってまいります。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 6 | | | | 現在身体拘束を行うようなお子さんや場面は基本的にありませんが、必要がある際には必ず保護者様への説明、記録等行っております。又、どのような場合に拘束するかは重要事項説明書等にて明記させていただいております。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 6 | | | | 食物アレルギーのあるお子さんには基本おやつを持参して頂いております。その他、必要に応じて医師と連携を図ってまいります。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | | | 事業所内でヒヤリハット事例集を作成・共有しております。 | また、ヒヤリハットがあった際は、迅速に共有し検討しています。 |

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。